

## [成果情報名] 水稲品種「なつほのか」の早期栽培における特性

[要約] 4月移植における水稲品種「なつほのか」は出穂期、成熟期とも「コシヒカリ」より遅い“早生の晩”である。稈長は短く、耐倒伏性は優れる。登熟歩合が高く、千粒重、精玄米重は「コシヒカリ」対比111%と多収である。苗の硬化開始時期を1日早めることで徒長することなく「コシヒカリ」と同程度の苗を得られる。

[キーワード] 水稲、早期栽培、なつほのか、

[担当] 長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・作物研究室

[連絡先] (代表)0957-26-3330、(直通)0957-26-4350

[区分] 農産

[分類] 指導

[作成年度] 2020年度

---

## [背景・ねらい]

本県では用水の確保や台風被害回避、作期分散等を目的に「コシヒカリ」や「つや姫」の早期栽培が島嶼部を中心に行われている。また、2016年には高温耐性品種「なつほのか」を奨励品種に採用し、県下の中山間地域や麦・みかん・野菜などとの複合経営地帯を対象として普及をはかっているところである。「なつほのか」は普通期栽培で一般的な6月移植での品種特性については良質、良食味、多収という特性が明らかとなっているが、4月移植における早期栽培での特性把握が必要である。

そこで、「なつほのか」の早期栽培での栽培特性と育苗特性を明らかにする。

## [成果の内容・特徴]

「なつほのか（西南136号）」（西南115号／西海250号：鹿児島県農業開発総合センター育成）は「コシヒカリ」と比較して次のような特性を有する。

1. 出穂期で11日、成熟期で10日程度遅い“早生の晩”である（表1）。
2. 稈長は短く、耐倒伏性は優れる（表1）。
3. 穂長、穂数および1穂粒数は同等で、玄米千粒重はやや重い（表1）。
4. 登熟歩合が高く、粒厚が厚く、精玄米重は「コシヒカリ」対比111%と多収である（表1、表2）。
5. 背白粒の発生率が高く、玄米の外観品質は劣る。
6. 苗丈は伸びやすいが、硬化開始時期を1日早めることで同等の苗丈が得られる（表3）。

## [成果の活用面・留意点]

1. 本情報は農林技術開発センター内水田（中粗粒グライ土）で得られた結果である。
2. 普通期栽培では芒のある籾の割合は稀であるが、早期栽培では少である。
3. いもち病にはやや弱いので、適期防除を行う。また、多肥栽培ではいもち病の発生程度が高くなり、倒伏程度も高くなる傾向があるので窒素過多を避ける。
4. 早期栽培では普通期に比べて出穂後の気温がかなり高くなり、品質低下が懸念されるため、穂肥は出穂20日前とその10日後の2回施用する。
5. 栽培にあたっては「なつほのか」の栽培適地マップを確認し、高温障害発生の可能性が高い危険期間に移植しないようにする。

## 【耕種概要】

播種日3月25日、播種量は乾籾120g/箱、移植日4月20日、3本/株手植え、栽植密度30cm×15cm、窒素施肥量(kg/a)は基肥0.4-追肥0.16-穂肥0.24

[具体的データ]

表1 生育・収量・品質と倒伏程度

品種名	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	1穂 粒数 (粒/穂)	登熟 歩合 (%)	千粒 重 (g)	精玄 米重 (kg/a)	標準 比 (%)	倒伏 (0~5)	背白 粒 (%)	品質 (1~9)	出穂後20 日間の平 均気温
なつほのか	7/13	8/14	70.9	18.9	397	76.3	89.2	23.3	62.6	111	0.9	62.7	9.0	29.5
コシヒカリ (標)	7/2	8/4	79.8	19.0	411	77.5	80.0	22.2	56.2	100	2.5	37.7	7.5	27.9
つや姫 (比)	7/4	8/6	69.7	18.1	406	76.0	82.7	22.0	55.9	99	1.2	20.7	6.0	28.4

注) 2017~2018年の平均値、倒伏程度は0(無)~5(甚)の6段階評価、背白粒の調査は100粒の2反復調査、品質は1(上の上)~9(下の下)の9段階評価

表2 粒厚分布 (重量比%)

品種名	粒厚 (mm)						
	<1.7	<1.8	<1.9	<2.0	<2.1	<2.2	2.2≦
なつほのか	0.8	1.0	2.0	7.3	26.9	43.4	18.7
コシヒカリ (標)	2.0	1.8	3.6	15.6	42.1	29.0	6.0
つや姫 (比)	1.9	1.8	4.3	20.3	48.7	20.4	2.7

表3 「なつほのか」移植直前の苗丈と葉齢

品種名	硬化開始時の 播種後日数 (日)	苗丈 (cm)	葉齢 (枚)
なつほのか	4	15.8	2.2
	3	13.6	2.0
コシヒカリ (標)	4	13.6	2.4
つや姫 (比)	4	13.3	2.3

注) 2017~2019年の平均値、出芽温度28℃で3日間、緑化温度を昼間25℃、夜間17℃に設定した段積加温育苗で出芽、緑化处理、硬化はガラス温室内で実施

[その他]

研究課題名：稲・麦・大豆奨励品種決定調査

予算区分：県単

研究期間：2017~2019年

研究担当者：中山美幸、古賀潤弥